

評価内容	評価時期			今年度の取り組み 今後の課題	評価の根拠となる資料
	よく 当てはまる	大 体当てはまる	当ては まらな い		
I 教育理念・教育目標	令和4年度評価				
1 卒業時点において育成する看護師等がどのような資質を有しているのか明示され、その資質が社会に対する看護の質を保证するのに妥当であるか	3	2	1	学校要覧見直し	・学校要覧 卒業時の特性、行動目標
2 育成する看護師等の質を保证するために、どのような教育内容、教育方法、教育環境を整えようとしているのかについて述べているか	3	2	1	学校要覧見直し	・学校要覧 ・カリキュラム検討会議事録
3 看護、看護学教育、学生観について教師の教育活動の指針になるように明示され、実際に指針となっているか	3	2	1	学校要覧見直し	・学校要覧 ・看護学実習指導要項 ・新カリキュラム検討記録
4 教育理念、教育目的は学生にとって学習の指針になるように具体的に明示され、実際に指針となっているか	3	2	1	学校要覧見直し	・学校要覧 指針となるよう入学時オリエンテーションで説明
5 自養成所の教育上の特色を示し、かつそれはあるか、法との整合性はあるか	3	2	1	学校要覧見直し	・学校要覧構成要素 * 保助看護師、学校養成所指定規則に基づく
II 教育目標					
1 看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長発達を促すための側面から教育目標を設定しているか	3	2	1	学校要覧見直し	・学校要覧 教育目標
2 教育目標は、設定した教育内容を網羅し、かつ最上位の目標として、教育活動のゴールが読み取れるものとして示しているか	3	2	1	学校要覧見直し 看護技術到達度	・学校要覧 教育内容 看護技術到達度チェック表
3 卒後の継続教育の考え方を示したうえで、看護基礎教育として教育目標を設定しているか	3	2	1	学校要覧見直し 卒後継続の追記	・学校要覧 教育理念・目的・目標 看護技術到達度チェック表 * 学校要覧の教育目標3に考え方を追記した。
4 教育目標において、目標内容と到達レベルが対応し、具体的に示しているか	3	2	1	学校要覧見直し	・学校要覧 卒業時の特性・行動目標・学年別到達目標
5 教育理念・教育目的と教育目標が一貫しているか	3	2	1	学校要覧見直し	・学校要覧
III 教育課程経営					
<教育課程編成者の活動>				学校要覧見直し	・学校要覧 科目の構成と位置づけ ・学校要覧 構成図・学科進度予定表・科目の構成と位置づけ ・学年時間割 ・講義概要(シラバス)
1 教育課程編成者の活動は、教育課程と授業実践、教育評価の関連性を明確に持ち、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っているか	3	2	1	学校要覧見直し	・学校要覧 教育課程の構造図～教科外活動
<教育課程編成の考え方とその具体的な構成>				実習(指導)要項見直し 講義シラバス見直し	・実習(指導)要項(1・2・3年次) ・講義シラバス
1 教育課程は、看護学の内容、求める学修の到達および学生の成長発達について明確な考え方と根拠をもって編成しているか	3	2	1	カリキュラム検討 年間評価	・学校要覧 教育理念～教科外活動 ・学校要覧 カリキュラム構成要素・構造図・教育内容 ・特色:人間・健康・環境・社会の理解、看護実践力、保健医療福祉の連携協働
<科目、単元構成>				学校要覧見直し	・学校要覧 学則細則 ・年間予定表
1 科目構成、単元構成の考え方と根拠を明確にして構成され、その考え方は教育理念・目的・教育目標との整合性をもち、構成された科目は看護実践者を育成するために妥当であり、かつ養成所の特色をあらわしているか	3	2	1	学校要覧見直し 年間予定表の見直し	・学校要覧 p7 学科進度表、シラバス・学年時間割 ・年間予定表
<教育計画>				教育課程見直し	・学校要覧 学則細則 ・教育課程 科目単位・時間数 R4~1単位の時間数の均等化はかる
1 単位履修の方法とその制約が教師・学生の双方がわかるように明示し、その方法が学生の単位修得の支援となっているか	3	2	1		・学校要覧 成績に関すること ・成績判定会議事録 ・卒業生の看護基礎教育評価
2 科目の配列は、単位履修と看護実践者になるために養成所が設定したその質を維持して修得できるような配列になっているか	3	2	1	授業準備時間の確認	・教員の履歴書で専門性確認 ・学年時間割 ・実習担当表 ・授業、実習担当表 (年計画)
<教育課程評価の体系>				研修参加状況確認・研修の周知 教員ラダーの導入と評価	・研修参加一覧 ・研修報告書 ・教員キャリアアップラダーの導入 ・学会、研修参加費助成 年1回
1 単位認定の基準(設定)および方法において看護専門職に必要な学修を認めるものとして十分に根拠があり、また妥当であるか	3	2	1	実習要項の見直し 指導要項の見直し	・臨地実習指導者会議事録 ・臨地指導者名簿・配置表 ・病棟オリエンテーション用紙
2 他の高等教育機関と単位互換性が可能な体制を整えているか	3	2	1	実習要項の見直し 指導要項の見直し	・臨地実習指導者会議事録 ・実習指導要項の実習心得
3 教育課程を評価する体系が整っており、また、結果の活用における倫理的規定が明確になっているか	3	2	1	実習要項の見直し 指導要項の見直し	・実習要項の実習心得、個人情報保護に関する内容 ・「看護学臨地実習」協力をお願い
<教員の教育・研究活動の充実>				実習介入 分析	・実習要項、実習中の事故(インシデント・アクシデント) 報告書・年度末分析評価 ・事故発生マニュアル・定期健診・予防接種 ・学生傷害保険加入
1 担当科目や担当時間数の関連から、教員の専門性が活かされ授業準備に関する時間が保障され教員の専門性を教授できる体制を整えているか	3	2	1		
2 教育課程の運営の実践者である教員が自ら成長できるための相互研鑽、自己研鑽のシステムを整えているか	3	2	1		
<学生の看護実践体験の保障>					
1 臨地実習施設は、養成所の教育理念、教育目的、教育目標を理解し、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えているか	3	2	1		
2 臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者と教員がそれぞれの役割を明確にし、協働体制を整えているか	3	2	1		
3 学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方が明示し、学生への指導を計画的にしているか	3	2	1		
4 臨地実習における学生が関係する事故を把握、分析し、安全教育、安全対策を計画的にしているか	3	2	1		

1
年

(3
月)

1
年

(3
月)

評価内容	よく当てはまる	大体当てはまる	当てはまらない	評価時期	今年度の取り組み 今後の課題	評価の根拠となる資料	
IV 教授・学習・評価過程							
<授業内容と教育課程のとの一貫性><看護学としての妥当性><授業内容間の関連と発展>							
1 当該授業の内容は、教育課程との関係において当該学生のための授業内容のまとまりとして考えているか	3	2	1	1 年 (3 月)	実習要項の見直し カリキュラム検討会	・学校要覧 構成図・学科進度予定表・科目の構成と位置づけ・教育内容 ・講義シラバス ・カリキュラム検討会議事録	
2 授業内容のまとまりづくりの考え方が科目目標との整合性を踏まえて明確に述べているか	3	2	1		実習要項の見直し	・学校要覧 構成図・学科進度予定表・科目の構成と位置づけ・教育内容 ・講義シラバス	
3 授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある内容となっているか	3	2	1			・学校要覧 構成図・学科進度予定表・科目の構成と位置づけ・教育内容	
4 当該授業の内容と他の授業内容との関連において、重複や整合性、発展性になどについて明確になっているか	3	2	1			・講義シラバス	
<授業の展開過程>							
1 履修形態（講義、演習、実験、実習）は、授業内容のまとまりづくりに応じた形態を選択しているか	3	2	1		実習要項の見直し	・学校要覧 構成図・学科進度予定表・科目の構成と位置づけ・教育内容	
2 授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	3	2	1		カリキュラム検討会	・講義シラバス ・カリキュラム検討会議事録	
3 当該授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	2	1		学習技術支援 国家試験対策	・看護技術テストの計画と評価 ・看護技術到達度チェック表の活用 ・模擬試験活用 ・業者によるセミナー企画 ・臨床講義	
4 学生に対し効果的な教育指導を行うにあたり、教員間でどのような協力体制で行っているか	3	2	1		演習時の事前打合せ 実習評価すり合わせ	・演習の指導案 ・技術テスト評価 ・実習評価	
<目標達成の評価とフィードバック>							
1 評価と指導の表裏一体性を踏まえた評価計画が立案・実施され、評価結果を活用し、実際に授業が改善されているか	3	2	1		アンケート結果確認 会議で公表 講師検討	・授業についてのアンケート、アンケート集計結果グラフ ・臨床指導者会議議事録 前年比較 ・講師アンケート結果の送付及び改善依頼	
2 可能な限り、学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れ、目標の達成状況を明確にとらえているか	3	2	1		学則・細則見直し 講義シラバス見直し	・保護者会アンケート評価 ・卒業生アンケート評価 ・各種届出用紙（出欠表、再実習届、再試験届）	
3 評価の方法について、特に単位認定のための評価については、学生に公表（認定基準等）し、公平性があるか	3	2	1		講義シラバス見直し	・講義シラバス ・成績判定・卒業認定会議議事録、実習評価の意見交換・個別で実習評価返却	
<学習への動機づけと支援>							
1 シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性をもって学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	2	1		実習要項の見直し 講義シラバス見直し	・講義シラバス ・入学時オリエンテーション	

評価内容	よく当てはまる	大體当てはまる	当てはまらない	評価時期	今年度の取組み 今後の課題	評価の根拠となる資料
V 経営・管理過程						
<設置者の意思・指針> 1 養成所の設置、教育理念、教育目的、教育課程運営、教育評価、および養成所の管理運営に関する管理者の考え方を設置者の意思と一貫性をもって明示し、かつ教職員は理解しているか	3	2	1	1 / 年 (3 月)	部門計画書見直し 目標面接カード活用	・部門計画書（改善目標・問題点・対策行動） ・個人の目標面接カード3回/年
<組織体制> 1 組織体制は養成所の教育理念・目的を達成するために意思決定のシステムや権限、役割機能が明確であり、かつ組織構成員の意思の反映や決定事項を周知できるように整えているか	3	2	1		公務分掌見直し 職員業務組織図見直し	・学則 職員組織図 公務分掌 ・会議の記録、不在者への伝達 ・業務組織図 ・委員会議事録
2 組織の構成と教職員の任用、および、教職員の資質の向上についての考え方と対策は教育理念・目的を達成するために整合性をもっているか	3	2	1		教員ラダーの導入見直し	・教員・教育の質向上のためのラダー制度作成と導入 ・学会・研修会案内の周知、報告
<財政基盤> 1 養成所の財政基盤をどのように確保しようとしているかについて明確な考え方をもち学習・教育の質の維持・向上につながるようになっているか	3	2	1		・管理職会議で予算案の計画 運営会議報告継続	・管理職会議議事録 ・研究・研修費の予算書 ・看護学校運営会議議事録 *看護学校運営会議で理事長含め話し合い方向性を示していた。
2 教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解し、それぞれの観点から財政についての意見を経営・管理過程に反映できるようになっているか	3	2	1		・管理職会議で財政・経営審議 事務からの説明	・管理職会議議事録・職員会議議事録 *経営学習会等のような意見反映の場づくりが必要。
<施設設備の整備> 1 学習・教育環境について、管理者としてどのような考え方をもって整備しようとしているかを示し、その考え方に基づいて整備計画を立案し、実施しているか	3	2	1		・管理職会議で見直し	・管理職会議議事録 ・看護学校運営会議議事録
2 看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備し、また、医療・看護の発展や学生層の変化にあわせて、整備・改善できるようになっているか	3	2	1		・管理職会議で見直し ・職員会議で見直し	・教材教具リストの作成と管理（新規購入、授業での要請を調査） ・図書リストの作成と管理（新規購入、授業での要請を調査）
3 学生および教職員にとっての福利厚生の施設設備は、養成所が設置されている地域環境との関連から検討し、学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるように整備しているか	3	2	1		・管理職会議で見直し 福利厚生施設の充実	・図書室の利用、自動販売機・コピー機利用 ・寄宿舎代の補助 ・地域バス路線確保 ・地域福祉施設によるパン販売 ・病院内 J A ・レストラン・コンビニ利用
<学生生活の支援> 1 学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に、かつ学生が活用しやすいように整え、実際に学生生活の支援になっているか	3	2	1		学校要覧見直し	・学生心得（学校施設使用 体育館・） ・入学時オリエンテーション ・教科外活動の技術支援導入
<養成所に関する情報提供> 1 教育・学習活動に関する関係者への情報提供を行うことによって、その協力・支援を得ているか	3	2	1		会議見直し 広報活動見直し	・講師会議議事録・臨地実習指導者会議 ・保護者会議議事録・看護学校運営会議議事録 ・高等学校訪問による看護職・学校紹介 ・募集要項、看護学校ホームページ ・学校見学会企画
2 広報活動は、看護専門職を育成する機関として、その存在を十分にアピールし、かつ社会的説明責任を果たす内容と方法になっているか	3	2	1		部門目標見直し 自己点検自己評価	・部門計画書（改善目標・問題点・対策行動） ・自己点検・自己評価記録
<養成所の運営計画と将来構想> 1 養成所の運営は明確な将来構想の基に、中・長期計画、短期計画、毎年の運営計画・実施・評価は整合性をもっているか	3	2	1		自己点検自己評価 学習会の必要	・学校の自己点検・自己評価の年間予定 *学習会実施していない。
<自己点検・自己評価体制> 1 自己点検・自己評価の意味と目的を理解し、実際に自己点検・自己評価を行うための知識と方法を明確に持っているか	3	2	1		自己点検自己評価継続 カリキュラム検討会継続	・年度末自己点検自己評価議事録 ・カリキュラム検討会議事録
2 養成所の自己点検・自己評価体制を整え、運用し、その機能を養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックし、養成所の教育理念、目的、目標を維持・改善しているか	3	2	1			

評価内容	よく当てはまる	大體当てはまる	当てはまらない	評価時期	今年度の取組み 今後の課題	評価の根拠となる資料
VI 入学						
1 教育理念・教育目的との一貫性から入学者選抜についての考え方を述べているか	3	2	1	1 回 ／ 年 3 月	募集要項の見直し	・募集要項 ・学校パンフレット
2 入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証しているか	3	2	1		入試委員会による検討	・入学状況調査（県提出） ・入試委員会議事録
VII 卒業・就職・進学						
1 卒業生の到達状況、就職、進学状況を分析した結果は、教育理念・教育目標と整合性があるか	3	2	1	1 回 ／ 年 3 月	新卒者アンケート実施継続	・卒業生にアンケート調査 実践能力と卒業到達目標に基づき ・学校運営会議議事録、入学・卒業・国家試験合格状況、
2 卒業生の就職先での評価を把握し、問題を明確にし、教育を改善するために、就職先との情報交換や調査の実施などができる体制が整っているか	3	2	1		調査実施依頼継続 調査に基づく分析	・看護部長会議等で退職者調査報告及び情報意見交換 ・関連病院の協力体制あり
3 卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理し、教育理念、教育目標、授業の展開に活用しているか	3	2	1		卒業生状況把握	・卒業生にアンケート調査 ・カミングホーム実施 ・カリキュラム検討会議事録
4 卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、それを計画的に行っているか	3	2	1		学校要覧見直し	・学校要覧 ・基礎看護技術チェックリスト
VIII 地域社会／国際交流						
<地域社会>						
1 社会との連携において、地域のニーズを把握し、看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っているか	3	2	1	1 回 ／ 年 3 月	研修会講師 地域活動参加	・教育関連講師 ・学会、研修会場の施設提供 *自治会役員の方々の校内見学実施 *地域防災訓練参加
2 養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段、養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っているか	3	2	1		学校HPの充実 学校見学会	・看護学校HP・関連施設に学校パンフ常備 ・県内高校生向け学校説明会 *学校見学会(地域住民・一般・小中高生)招待
3 地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れているか	3	2	1		地域在宅看護論で 土浦市に協力依頼	・教育課程 ・教育内容 *地域特徴を知るカリキュラムにR4～
<国際交流>						
1 国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	3	2	1	1 回 ／ 年 3 月		・看護学概論・国際看護・災害看護シラバス
2 国際的視野を広げるための自己学習システムが整っているか	3	2	1		システム化に向け検討	・海外文献完備 ・インターネット環境
3 海外からの帰国学生や留学生を受け入れる体制があるか	3	2	1		検討事項	*一般入試募集要項に希望者は要相談と記載する。実施できていない。
4 留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制があるか	3	2	1		英文対応証明書発行	・英文対応証明書
IX 研究						
1 教員の研究活動を保障（時間的、財政的、環境的）しているか	3	2	1	1 回 ／ 年 3 月	研究活動案内の周知	・茨城県教員連絡会入会金補助 出張扱い 学会参加研修費補助
2 教員の研究活動を助言・検討する体制が整っているか	3	2	1		教員間授業参観	・校内の授業参観実施 *授業参観後のフィードバックを実施
3 研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所にあるか	3	2	1		検討中	・授業研究参加報告書、日本看護学校協議会研修参加報告書